

柏原駅東地区まちづくり基本構想(案)に関するパブリックコメントへの回答

番号	意見	回答
1	<p>オガタ通り商店街については、道路の補修は、必要だが、それと同時に各店舗が、客の自転車を道路にはみ出さないように停めるのを徹底していかなければ、結局、高齢者の方や障がい者の方、子供たちが安全に道路を通ることができない。これが徹底できなければ、税金を投入して整備することに疑問を感じる。</p> <p>空き店舗に関しては、家賃設定が高いという意見をお聞きしたことがある。柏原にあった家賃設定にし、新規出店しやすいようにしなければ、誰も出店しようとは思わない。</p>	<p>オガタ通り商店街については、ご意見のとおり高齢者や要配慮者への交通安全対策が課題となっていることから、本構想(案)においても『歩きやすい歩行者空間』の整備を目指しております。</p> <p>また、空き店舗の対策に関しては、本市の補助制度である「新規出店促進事業」の活用促進をはじめ、空き家・空き地を賑わいある滞在空間として活用できるよう検討してまいります。</p>
2	<p>柏原駅東口から、北向きの動線では、新しい道路に車が抜けれるようにしてほしい。</p>	<p>柏原駅東側道路(清州上市線)については、安全で快適な道路環境の形成を目指し、併せて交通利便性向上を図るための道路網整備の必要性を検討してまいります。</p>
3	<p>商店街に人が流れるようにしようということを考えてる方が多いように見受けられるが、堅下駅から柏原駅への乗換えだけの方が、商店街を利用されるとは思えない。柏原東小学校から図書館を経て柏原駅に向かう動線に対して、カフェなどの飲食店や買い物できる空間を整備していた方が、お金を落としてもらえと思う。</p>	<p>柏原駅と堅下駅を結ぶ歩行者動線については、通過型の道路空間から、ゆとりある歩行者道を整備し公共空間の活用や新たな民間事業者の参画を推進することによって生まれる滞在型の道路空間を目指してまいります。</p> <p>また、この滞在型の道路空間は、商店街の沿道に関しても同様に目指していることから、地区内における回遊性を持たせることで、駅周辺の豊かな日常と活気あふれるまちづくりを目指してまいります。</p>
4	<p>柏原市内の小中学校を統廃合し、柏原東小学校を別の活用していけばいいと思う。立地の良い場所にあるのだから、オアシスの機能を誰もが行きにくい旧サンヒル柏原に持って行くのではなく、この周辺に持ってきた方がいいと思う。オアシスは、お子様連れの方や高齢者の方の利用が多いので、立地条件の良い場所に作らなければ、住みよい街にはならない。</p>	<p>小中学校に関する施策についてのご意見ありがとうございます。</p> <p>頂いたご意見については、本市の担当部局と情報の共有化を図ってまいります。</p>
5	<p>文化センター(図書館)と共に公共施設の建物の老朽化を広い目で見、市民が使いやすい所にしてほしい。</p> <p>文化センター前の公園に関しては、今は、閉ざされて暗い雰囲気に見受けられるので、もっと明るく、子供たちが遊べて、週末等にイベントもできるような空間にして頂きたい。イベントの時は、文化センターの建物内も活用できるようにして、より広い空間で集客できるイベントを実施してほしい。</p>	<p>市民文化センター及び隣接の上市公園は、建物施設の長寿命化改修工事を行うことから、公園施設と一体的な活用を図るための整備を検討しており、本構想(案)においても、人々が集い、交流し合い、居心地が良いと感じられるような賑わいある豊かな空間を目指していることから、実現化に向けて努めてまいります。</p>
6	<p>上市公園の芝生化や周辺のイメージに関してはとてもいいと思います。ぜひ、このイメージをベースに進めていただきたいと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>今後とも市民の皆様とイメージの共有が出来るよう努めてまいります。</p>
7	<p>JR柏原駅東口側に関して、駅前広場や道路網を整備することは良いと思います。一方で、実現のためには、当該地域に現在ある商業施設や飲食店等を全てなくさなくてはなりません。</p> <p>空き店舗も多く十分にぎわいがある状況ではありませんが、単になくして道路にするだけでは駅前のにぎわいがなくなってしまいます。ロータリー横にテナント用の建物を建築し、飲食店等の移転、新店舗の誘致などを進めていただきたいと思います。</p> <p>商店街まで少し距離がありますので、駅前から商店街まで連続して賑わいとぎわいがないことで、全体の活性化や回遊性の向上に期待がもてると思います。</p>	<p>駅前広場や道路空間の整備にあたっては、当然として既存建物への対応を検討していくことになり、事業を検討する際は市民の皆様と一緒にまちづくりを行ってまいります。</p> <p>ご指摘のとおり、駅前広場や道路、その他公共施設の整備だけでは利便性の向上は図れても市民利益や地域価値を創出することは出来ず、持続的なまちが営まれることは実現困難であることから、民間事業者の参画を推進しつつ、その周辺の活用やにぎわい空間の形成を含めて検討してまいります。</p>

番号	意見	回答
8	<p>アクアロードに関しては非常に貴重な資源だと思います。ただ、老朽化の影響もあり、あまり綺麗な景観にはなっていません。単に老朽化した部分のペンキ塗り替え等でなく、木々を増やすなど、持続的に景観が保たれる整備方法を検討いただきたいです。</p>	<p>長瀬川・アクアロードについては、世界かんがい施設遺産に登録されており、本市としても「うるおいある憩いの場」としての環境整備に向けて、維持補修だけでなく、美しい景観形成に努める必要があると考えことから、頂いたご意見を本構想(案)に取り入れ、整備検討に努めてまいります。</p>
9	<p>本構想(案)は、本市の総合計画、都市計画マスタープラン、東部大阪再開発方針(計画図も含む)など本市に関わる基本計画を基に策定したものであると思います。しかし、本構想(案)の必要目的・趣旨内容が少し不明確であり、コンサル独自で本市地域内を充分踏査調査されたかは少し疑問視します。</p>	<p>本構想(案)の背景・目的としては、柏原駅東地区の駅前広場や道路交通網が未整備であり、駅周辺の公共交通機能を十分に発揮できていない現状を鑑み、課題解消に向けた取組みを検討するとともに、賑わいと活気にあふれる都市空間の創出を図る必要があることとしています。</p> <p>加えて、課題解消に向けたまちづくりに取組む際に行政機関をはじめ、地域の方々や関係機関等がまちの将来像を共有することを目的としており、本構想はその指針となっています。</p>
10	<p>コロナ禍によって時代・社会の変化は非常に大きい変動しており、少子高齢化による人口減少や有識者グループ人口戦略会議で最終的に消滅する可能性の自治体があると報告されている実情などを踏まえて基本構想を検討することも必要であり、本構想(案)が最終の基本構想になるものと考えられます。</p> <p>また近年、地震・台風・豪雨などの自然災害も検討に入れた良好である都市計画環境の形成・接続保持のまちづくりに含めた計画を住民・地権者・事業者は望んでいると思います。</p> <p>来訪者の減少で、かつて賑わった大県商店街の空き店舗や空き家の有無調査・検討を加えた活力に満ちる持続可能なまちづくりを地域住民(区長を含む)に対して参画が出来る場を設け、参画した住民の意見なども必要不可欠であると思います。</p>	<p>本構想(案)におけるまちづくりの基本方針は、地域住民や商店街などの関係者とワークショップを行い、意見を取り入れながら協働で考え、作成に至ったものであります。</p> <p>今後、本構想(案)の実現化に向けての取り組みは、ご意見として頂いた自然災害や少子高齢化、人口減少問題などの社会情勢と地区の特性を踏まえて検討していくとともに、引き続き地域住民や関係機関、民間事業者等の声を聞き入れながら、まちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>また、自然災害に関するご意見は本構想(案)に取り入れ、災害時の対策として防災空間の確保に努めてまいります。</p>